

2021(令和3)年度 第2回コンクリート常任委員会
議事録

日 時：2021年7月6日(火) 14時00分～15時20分

場 所：WEB会議

出席者：下村委員長，山本幹事長

綾野，石田，井上，岩城，上田，氏家，内田，鎌田，河野，古賀，小林，齊藤(成)，佐伯，坂井，菅俣，杉山，中村，永元，二羽，濱田，原田，久田，平田，本間，松田，丸屋，森川，山口，山路の各常任委員
大島，加藤，田所，細田，前田の各常任委員兼幹事
小澤，子田，國枝の各オブザーバ，小川(事務局)

配布資料：

- 2-0 2021(令和3)年度 第2回コンクリート常任委員会 議事次第
- 2-1 2021(令和3)年度 第1回コンクリート常任委員会議事録(案)
- 2-2 締固めを必要とする高流動コンクリートの施工に関する研究小委員会(256委員会)委員構成
- 2-3 高強度繊維補強セメント系複合材料の構造利用研究小委員会 委員構成(案)
- 2-4 火害を受けた鉄筋コンクリート構造物の損傷と性能の評価に関する調査研究小委員会 設立趣意書
- 2-5 コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工指針(案)の審議に関する資料
- 2-6 2021年度コンクリート委員会 一般会計予算執行状況(案)
- 2-7 本部主催行事開催報告・開催予定

議 事：

1. 委員長挨拶

下村委員長より，常任委員がライブで一堂に会する貴重な機会であり，確実に慎重な審議をお願いしたい，との挨拶がなされた．また，コンクリート委員会の木村嘉富委員が国総研の所長に就任されたこと，顧問の上田多門先生が土木学会の次期会長に内定されたことが紹介された．

2. 2021年度第1回コンクリート常任委員会議事録の承認【資料2-1】

前田幹事より，2021年度第1回コンクリート常任委員会議事録案が紹介され，承認された．

3. その他

なし．

審議事項：

1. 第2種委員会の委員構成

- (1) 締固めを必要とする高流動コンクリートの施工に関する研究小委員会(256委員会)委員構成【資料2-2】

下村委員長より，委員の交代(住友大阪セメントの三浦真司委員から齋藤尚委員への交代)の説明があり，承認された．

- (2) 高強度繊維補強セメント系複合材料の構造利用研究小委員会 委員構成【資料2-3】

下村委員長より，前回の常任委員会から委員会名が変更になったことと，委託側・受託側の委員の選定が完了したことの説明があり，委員構成について承認された．

2. 第3種委員会の設置

(1) 火害を受けた鉄筋コンクリート構造物の損傷と性能の評価に関する調査研究小委員会【資料2-4】

委員長予定者の群馬大学の小澤准教授（オブザーバ参加）から、委員会設置の趣旨説明についてPPTを用いた説明がなされた。その後、以下の質疑がなされた。

- ・（久田）2008年の首都高の火災被害の後に補修・補強された構造物の追跡調査をしてはどうか？
→ 委員に首都高速道路技術センターの土橋さんに委員就任を打診している。
- ・（佐伯）火害の研究は建築分野の方が進んでいる印象を持っているが、建築分野にも声をかけているか？
→ 調べた範囲では、建築分野では火災による損傷は保険でカバーされるため、ひどい損傷の場合は壊して作り直すという考え方のようで、耐久性という考え方に馴染みがないようである。土木と考え方が異なるようなので、今回は建築分野には特に声をかけていない。
- ・（井上）対象とする構造物は？PCは対象にしないのか？
→ トンネルでの検討が進んでいるが、橋梁なども含め、全体的に検討したい。セグメントメーカーにも声をかけている。PCの技術者にも声をかけている。

審議の結果、委員会の設置が承認された。委員の公募要領を作成し、手続きを開始することとした。

3. 指針案の審議

(1) コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工に関する研究小委員会【資料2-5ほか】

小委員会委員長の中村委員より意見照会における修正意見に対する対応の説明がなされた。すべての修正意見に対する対応表（エクセル）はWFMにアップロードされているとの説明があり、主な修正意見への対応について説明がなされた。修正意見を勘案して、指針名を「コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工・維持管理指針」に修正したとの説明があった。

中村委員からの説明に対する意見、質問は特になく、修正を反映した最終版を幹事団が確認することをもって、修正案が承認された。小委員会から幹事団へ最終版を提出することとなった。

4. その他

なし。

報告事項：

1. 2021年度コンクリート委員会予算執行状況【資料2-6】

山本幹事長より、2021年度の予算執行状況（案）の説明がなされた。

2. 報告会・講習会の開催予定【資料2-7】

(1) 207国際関連小委員会の担当で、Frontiers of Concrete Technology, 2nd JSCE Concrete Committee Webinar, Aging Management of Concrete Structures in Nuclear Power Plants – Internal swelling reaction of concrete -, の案内があった。（2021年8月4日、16:00～18:00、オンライン）

(2) 359委員会の担当で、「コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会」成果報告会およびシンポジウムの案内があった。（2021年10月8日、10:00～17:00、オンラインと土木学会講堂のハイブリッド）

3. その他

(1) 下村委員長から、「橋梁デザイントリエンナーレ バレンシア2022」についての情報共有がなされた。意匠をテーマとした国際イベントで、土木学会を主体とした日本チームで参加することを、土木学会専務理事のイニシアティブで検討している。実行委員会（藤野陽三委員長、春日昭夫副委員長）に、下村

委員長がコンクリート委員会から委員として参画している。今後、動きがあれば情報共有をすることとなった。

(2) 中村委員から、翌日の7月7日から開催されるJCI年次大会（名古屋）の案内があった。特に、バーチャルテクノプラザは、現時点で国内で開催されているオンライン展示会の最高レベルの技術や内容のものであると自負しており、ぜひ参加いただきたい、との紹介があった。

次回開催：

2021年9月7日（火）14:00～ web 会議（議題は幹事宛てに8月20日（金）までに）

以上

【記録：細田 暁】